

## ケーブル技術スタッフの機器チェック!

日々開発されるケーブルテレビ関連機器を、技術スタッフが厳しい目でチェック! 実用性に焦点を当てて報告します。

No.  
6

## 「CS・BS 増幅器」

豊島ケーブルネットワーク(株) 技術部 部長 上山裕史

ケーブルテレビ局が、自営工事で予備の受信システムを構築する場合に役立つと思われる「増幅器」についてご紹介します。

## ホーチキ CS・BS プリアンプ「A-CA1」

多くのケーブルテレビ局でBS受信システム・CS受信システムが構築されています。万が一に備え、予備の受信システムを自営工事で構築してみても如何でしょうか。ブロック図を図1に示します。こうした際に、使用する同軸ケーブルは思った以上に長く、周波数も1GHz以上と高いため損失が多くなります。途中で軽く増幅する必要がある場合に役立つと思うホーチキ(株)のCS・BSプリアンプA-CA1を紹介します。

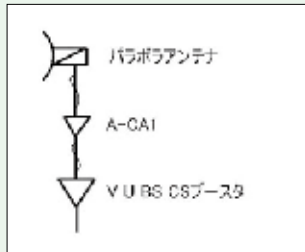


図1

まず、図2に増幅特性を示します。①の線が増幅器入力で75dB $\mu$ Vです。②の線が増幅器出力です。1GHzから2.6GHzまで高い周波数を多めに増幅してくれるのは、同軸ケーブルの高い周波数での損失増加を考えると大変親切な設計だと思います。

また、CATVの帯域を-30dB以下にカットしているのは、CATV帯域にノイズを流さないという意味で好ましい特性と考えられます。



図2



CS・BS プリアンプ「A-CA1」概観

市販品には個人の環境での使用を考慮したため、CATV帯域を-3dBで通過させ、帯域の上はだらだらと増幅特性が下がるようなものがあります。図3の特性がこれです。同軸の特性とあわせるとCS、BS受信端末では高域のレベルが落ち、平坦な特性は望めません。

コストパフォーマンスに優れた予備受信システムを構築するための、部品選定の一助になれば幸いです。



図3

ホーチキ株式会社 情報通信事業部 情報通信営業部  
<http://www.hochiki.co.jp/>